

さいたま市文化財時報

かや  
榎りぼーと  
第45号

## 平成23年度新指定文化財

ばんば おむろやまいせきだい こうごうしゅつどじょうちんとき おむろしゃ  
「馬場小室山遺跡第51号土壌出土縄文土器」および「小室社のタブノキ」について、さいたま市教育委員会は、平成24年3月28日付けで指定を行いました。



▲馬場小室山遺跡第51号土壌出土縄文土器  
(さいたま市立博物館写真提供、一部加工)



◀小室社のタブノキ

今回の指定により、市内に所在する市指定文化財は443件、国・県指定を含めた総件数は525件となります。この他に、市内には6件の国登録有形文化財があります。

(平成24年4月1日現在)

\*文化財を見学する際はマナーを守りましょう。

文化財の中には個人所有のものも含まれ、所有者のご好意で公開されているものもあります。見学の際は所有者や近隣の方の迷惑とならないよう、マナーを守るとともに、文化財の保護には十分に配慮しましょう。

新指定文化財

種別	名称	員数	所在地	所有者
有形文化財 (考古資料)	馬場小室山遺跡 第51号土壌出土縄文土器	30点	さいたま市大宮区高鼻町2丁目 305番地4 (土器の館)	さいたま市
天然記念物	小室社のタブノキ	1株	さいたま市緑区大字三室	個人

新指定

有形文化財(考古資料)  
 馬場小室山遺跡第51号土壌出土縄文土器

市指定史跡「馬場小室山遺跡」は、見沼のほとりの台地上に広がる、縄文時代の大規模な集落跡です。昭和44年の土器片の発見をきっかけに発掘調査が行われて以来、現在までに32回調査が実施されています。これまでの調査により、県指定有形文化財「人面画土器」・「土偶装飾土器」といった全国的にも珍しい資料を含む多彩な遺物が多く出土したほか、住居跡等の遺構も豊富に確認され、縄文時代の生活を知る上で貴重な成果が得られました。また、遺跡中央にある自然の窪地を土手状に囲んだ特異な盛土状の遺構は、縄文時代後半の集落のあり方を明らかにする貴重な手がかりとなるものです。

昭和57・62年に発掘調査された第51号土壌(穴)からは、「人面画土器」とともに器種も量も豊富な土器がほぼ完全な形で出土し、今回30点の土器が指定されました。第51号土壌は直径約4.7m、深さ約2.6mの円筒状の大土壌です。30点の土器は「人面画土器」とともに、土壌の下部から底近くにかけてまとまって出土しました。

土器は「人面画土器」も含め、文様が無いものや簡略化されているものが多く、日常的に使われたと見られる粗製土器が中心です。多くは深鉢形土器で、ほかに注口土器、浅鉢形土器、壺形土器などがあります。これらは、文様などから縄文時代晩期に製作されたものと考えられます。土器の文様は一般的に時間の推移とともに変化しますが、第51号土壌では、晩期初めから中頃にかけての異なる文様を持つ土器が共存していることが特徴で、時間を経ても前段階の文様を持つ土器を使用していた可能性も考えられます。

「人面画土器」を含む多くの遺物がまとまって出土したことは、円筒状の大土壌という遺構と併せて他に例の少ない特徴です。30点の土器は、縄文時代晩期における土器の形・文様の変化を今に伝える貴重な文化財であるとともに、集落における特殊な土壌のあり方を知る上でも欠かせないものです。

----- 新指定土器関連文化財(馬場小室山遺跡出土・平成10年県指定) -----



▲人面画土器

文様の無い粗製深鉢形土器に人面が描かれた、縄文時代晩期の土器です。新指定土器と同じ第51号土壌から出土しました。眉と鼻は盛り上がった線で表され、目・口・輪郭は窪んだ線を彫って表現されています。平成21年にはイギリスへ渡り大英博物館で展示されました。 高さ：14.8cm 口径：13.0cm



▲土偶装飾土器

口縁部に男女の土偶が付けられています。史跡の指定範囲内から出土した、縄文時代後期の土器です。 高さ：16.2cm 口径：13.8cm

「人面画土器」・「土偶装飾土器」は、さいたま市立浦和博物館(048-874-3960)で展示しています。



## 新指定

天然記念物  
小室社のタブノキ

市指定史跡「馬場小室山遺跡」に隣接する小室社の境内にあるタブノキです。樹高は23.5m以上で、林内で抜きんでており、樹勢良好です。遺跡名である「馬場小室山」の由来となった小室社の神木というべき位置にあります。

タブノキの古木らしい趣きがあり、太い枝が四方に大きく分かれて付近を覆い、頂部付近は半球状です。植物の生育に適した環境にあり、土壌・日射も良好です。

一般的なタブノキに比べても非常に大きく、県内でも23m以上の樹高、3.77mの胸高周囲を持つものは少なく、貴重な樹木です。

樹高：23.5m以上 枝張り：東西29.0m、南北20.0m  
胸高周囲：3.77m 根回り：4.35m



▲小室社のタブノキ（写真中央）

## TOPICS

## ●新指定文化財の指定書交付式を行いました。

平成24年3月28日付けで指定した、新指定文化財「小室社のタブノキ」について、指定書交付式を4月27日(金)に、さいたま市役所で行いました。

## ●「サクラソウ Weeks2012」を開催しました。

サクラソウ自生地としては唯一の国指定である「田島ヶ原サクラソウ自生地」(桜区)でサクラソウが開花期を迎え、3月25日から4月23日までの間に、17,000人以上の観光客が訪れました。文化財保護課では「サクラソウ Weeks2012」を開催し、多くの方々にご参加いただきました。ボランティアの方々による案内・解説のほか、市文化財調査専門員を講師に見学会を行い、桜区のプラザウエスト・桜図書館では、サクラソウに関する資料や写真・図書を展示しました。



▲春のあたたかい日ざしの中で咲くサクラソウ

●「<sup>カガアヒ</sup>釣上の子ども相撲土俵入り保存会」・「笹久保の古式子ども土俵入り保存会」が表彰されました。

国指定重要無形民俗文化財「岩槻の古式土俵入り」の保存団体が、5月30日(水)に埼玉県文化財保護協会から、優良文化財保護団体として表彰されました。

●国指定史跡「見沼通船堀」で<sup>こゝろん</sup>閘門開閉実演を8月29日(水)に行います。

「見沼通船堀」は、江戸時代に造られた約1kmの閘門式運河で、市を代表する史跡です。用水路と芝川の水位差が3mあるため、閘門を開閉して水位を上下に調節し船を通しました。通船堀の開通により用水路と芝川が結ばれ、見沼と江戸との間で船による流通が盛んになりました。閘門開閉の実演は毎年夏に行われ、大勢の観客で賑わいます。



▲見沼通船堀閘門開閉実演



## さいたま市内指定文化財等公開カレンダー 平成24年7月から9月

市内で開催されるお祭りに指定文化財が参加するほか、「見沼通船堀閘門開閉実演」や「最新出土品展」などを文化財保護課主催で予定していますので、ぜひお出かけください。見学や公開に関する詳しい内容は、さいたま市ホームページをご覧ください。文化財保護課（048-829-1723）までお問い合わせください。天候によっては、中止や延期の場合があります。

	名 称	日 時 ・ 場 所 ・ 内 容
1	秋葉ささら獅子舞	7月14日(土) 10時から 秋葉神社(西区中釘818)・永昌寺(西区中釘1699) 10時に中釘自治会館を出発し、11時50分頃秋葉神社境内で獅子舞を披露します。また、16時より永昌寺三尺坊でも披露します。
2	宿の祭ばやし	7月14日(土) 14時から 大久保神社(桜区宿69) 大久保神社に奉納される祭囃子で、宿地区を神輿と共に巡行します。祭りの終盤(19時から)には、塚本、五関の屋台車と競演があります。
3	神田の祭りばやし	7月14日(土) 14時から 八雲神社(桜区神田550) 江戸神田囃子の系統の五人囃子で、八雲神社から神輿とともに、月読社をはじめ神田地区内を巡行します。
4	砂の万灯	7月14日(土) 16時から 八雲神社(見沼区東大宮1-13-9) 7組の万灯組が、悪疫退散等を祈願して各組の万灯を境内に並べます。夕方から万灯は点燈され、違う印象が楽しめます。
5	田島の獅子舞	7月14日(土) 16時から 田島氷川社(桜区田島4-12-1) 3頭の獅子が笛の音にあわせ、太鼓を打ちながら優美に舞います。
6	駒形の祭ばやし	7月15日(日) 11時から 須賀神社(緑区中尾1430-3) 須賀神社の祭礼のため、駒形地区を神輿とともに巡行します。宵山(前日の夜)には高校生の演奏のほか、オカメ・ヒョットコや獅子舞も披露されます。
7	浦和まつり	7月22日(日) 14時から 中山道浦和宿(浦和区仲町他) 浦和木遣保存会が、木遣歌を歌いながら、旧中山道を八雲神社から調神社まで纏をふって歩きます。駒形の祭ばやし、宿の祭ばやし、神田の祭りばやし各屋台車で披露します。また、「仲町獅子王祭獅子頭」・「浦和仲町の神酒榨」を仲町御酒所にて公開します。 ※お問い合わせ (株)さいたま観光国際協会 (☎048-647-8338)
8	氷川女體神社の名越祓え	7月31日(火) 15時から 氷川女體神社(緑区宮本2-17-1) 悪疫退散、健康を祈願する夏越しの行事で、人型に切った紙を川へ流し、穢れを取り除いた後、マコモで作った大きな輪を歩いてくぐります。
9	深作ささら獅子舞	8月25日(土) 16時から 深作氷川神社(見沼区深作2-15-4) 三頭の獅子と天狗による舞を行い五穀豊穰等を祈願します。境内に四本柱を立て、竹で天幕を支えた土俵で行う動きの激しい舞です。
10	指扇の餅搗き踊り	8月25日(土) 18時から 滝沼川第2遊水地(西区指扇4406) かつて指扇地区内の家の庭で行われた餅搗き踊りです。曲芸のような動作をしながら餅を搗く「曲搗き」等を披露します。
11	見沼通船堀閘門開閉実演	8月29日(水) 第1回10時から 第2回13時から(それぞれ1時間半程度) 見沼通船堀東縁閘門 一の閘・二の閘(緑区大間木、下山口新田) 国史跡「見沼通船堀」の東縁で実際に水位を調節し、船を浮かべます。また、「見沼通船舟歌」(市指定無形民俗文化財)を踊りとともに公開します。
12	岩槻の古式土俵入り(笹久保地区)	9月15日(土) 15時から 篠岡八幡大神社(岩槻区笹久保810) 幼稚園から小学生までの子どもたちが、化粧回しを身につけ、古くから伝わる土俵入りの型を演じます。子供の健康、安全を祈願して行います。
13	最新出土品展	平成23年度を中心に市内各所で発掘した出土品や、調査の様子を展示します。(9月から12月にかけて、市内の博物館・区役所等で巡回展示します。) 9月8日(土)～9月23日(日) 9時～16時30分 さいたま市立博物館 見学無料
14	遺跡発掘調査成果発表会	9月15日(土) 10時30分～16時 さいたま市立博物館 入場自由・申込不要 最新出土品展開催に伴い、発掘調査の成果を調査担当者が発表します。

さいたま市文化財時報

第45号

平成24年6月29日

【編集・発行】

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課  
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号  
☎048-829-1723 ㊟048-829-1989  
<http://www.city.saitama.jp/>